

**A** 一時預かり事業が保護者の立場から必要性に対応するものである  
**Q** 市では一時預かり制度を運用している。どのようにすみ分け、共存させていくのか。

**A** 三条市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について

**2議第2号**

三条市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について

**2議第2号**

**A** 旅費はどのようになっていくのか。  
**Q** 条例制定により、三条市の職員の旅費に関する条例の制定について

**1議第1号**

三条市職員の旅費に関する条例の制定について

**1議第1号**

**大綱質疑**  
Check!

12月定例会では3会派が大綱質疑、人が質疑を行いました。

**A** 旅費はどのようになっていくのか。  
**Q** 上限付き実費支給方式となる。実際の行程に即した実費の支給となる。宿泊費のほか交通費や日当の見直しなども行うことから、旅行先や移動経路によって支給額が変動する。  
旅費の支給が多くなる場合もあると捉えている。

**A** 旅費はどのようになっていくのか。  
**Q** 上限付き実費支給方式となる。実際の行程に即した実費の支給となる。宿泊費のほか交通費や日当の見直しなども行うことから、旅行先や移動経路によって支給額が変動する。  
旅費の支給が多くなる場合もあると捉えている。

**A** 対象乳幼児は、生後6カ月から満3歳未満までの未就園児。保護者の就労等の条件はない。利用料は1時間300円、利用可能時間は月10時間である。

**A** 対象乳幼児は、生後6カ月から満3歳未満までの未就園児。保護者の就労等の条件はない。利用料は1時間300円、利用可能時間は月10時間である。

**Q** 来年度全国の自治体で始まる、いわゆるこども誰でも通園制度は、条例制定だが、利用できる子どもとその保護者の条件、利用料と利用時間はどうか。

**Q** 来年度全国の自治体で始まる、いわゆるこども誰でも通園制度は、条例制定だが、利用できる子どもとその保護者の条件、利用料と利用時間はどうか。

のに対して、こども誰でも通園制度は、保護者のために預かるだけではなく、家庭にいるだけでは得られないさまざまな経験を通じて子どもが成長していくように子どもの育ちを応援することが主目的の制度である。それぞれの目がに基づき、しっかりと実施する。

のに対して、こども誰でも通園制度は、保護者のために預かるだけではなく、家庭にいるだけでは得られないさまざまな経験を通じて子どもが成長していくように子どもの育ちを応援することが主目的の制度である。それぞれの目がに基づき、しっかりと実施する。

**A** 昨今の賃金上昇の状況等を踏まえるものと考へている。他の状況も見ていく。

**A** 昨今の賃金上昇の状況等を踏まえるものと考へている。他の状況も見ていく。

**Q** 持続可能な指定管理者制度にしていくためには、賃金スライド等の対策が必要ではないか。

**Q** 持続可能な指定管理者制度にしていくためには、賃金スライド等の対策が必要ではないか。

**A** 昨今の賃金上昇の状況等を踏まえるものと考へている。他の状況も見ていく。

**A** 昨今の賃金上昇の状況等を踏まえるものと考へている。他の状況も見ていく。

**Q** いい湯らていのリニューアル事業については、令和7年12月に補正予算の提出、令和8年にプロポーザルと基本設計、令和10年に実施設計と工事着手、令和10年に工事完了とオープンとのスケジュールが示されていた。

**Q** いい湯らていのリニューアル事業については、令和7年12月に補正予算の提出、令和8年にプロポーザルと基本設計、令和10年に実施設計と工事着手、令和10年に工事完了とオープンとのスケジュールが示されていた。

**A** しかし、今定例会に補正予算の提出はなく、いまだにサウンディング型市場調査を実施しているので、だいぶ遅れていた。その後のスケジュールについて伺う。

**A** 道の駅漢字の里しただけの機能をいざん、指定管理の一歩化を検討しているため、同道の駅の指定管理期間と終期を合わせて2年間とした。

**A** 現在の市民球場のスコアボードは、磁気反転方式で、部品の製造が中止となり、故障時にメーカーの対応ができない。現在はLED方式が主流であることから、選択した。一般的な年間のランニングコストは、電気料20万円程度、保守管理費用100万円程度と試算している。

**A** 現在の市民球場のスコアボードは、磁気反転方式で、部品の製造が中止となり、故障時にメーカーの対応ができない。現在はLED方式が主流であることから、選択した。一般的な年間のランニングコストは、電気料20万円程度、保守管理費用100万円程度と試算している。

**Q** ふるさと三条応援寄附金について、令和7年10月からふるさと納

**Q** ふるさと三条応援寄附金について、令和7年10月からふるさと納

**A** ふるさと三条応援寄附金のための渡航費用など、準備費用も助成するため、他の団体や機関の併給を認めている。

**A** 給付型である本奨学金は、留学先での住まい探しや、入学手続き等のための渡航費用など、準備費用も助成するため、他の団体や機関の併給を認めている。

**Q** 大学生等奨学金では他の団体の併給を認めないので、海外留学奨学金では併給を認めるのか。

**Q** 大学生等奨学金では他の団体の併給を認めないので、海外留学奨学金では併給を認めるのか。

認めている。

議案賛否一覧			
		会派名 (下段は所属議員数)	議決結果
区分	番号	件名	概要
議案	議第35号	令和7年度三条市国民健康保険事業特別会計補正予算	国の補助金を活用し子ども・子育て支援金徴収のためのシステム改修を行うほか、人事院勧告等を考慮した給与改定等に伴う職員人件費の調整、令和5年度および6年度の療養給付実績等による県交付金の償還金、令和6年度決算に伴う剰余金等の国民健康保険事業財政調整基金への積立金を措置するもの 補正額 4,834万3,000円 補正後の額 80億5,484万3,000円
議案	議第36号	令和7年度三条市後期高齢者医療特別会計補正予算	国の補助金を活用し、令和8年4月から始まる子ども・子育て支援金の徴収に対応するため、システム改修を行うもの 補正額 439万7,000円 補正後の額 15億730万9,000円
予算	議第37号	令和7年度三条市介護保険事業特別会計補正予算	国の補助金を活用し、令和7年度の税制改正および年金額改定に伴う介護保険料の算定等に対応するため、システム改修を行うもの 補正額 215万6,000円 補正後の額 109億2,981万8,000円
議案	議第38号	令和7年度三条市一般会計補正予算	市民栄誉賞表彰の被表彰者に報償金を贈呈するほか、生活圏に出没する熊の捕獲に要する経費に係るスクールバスの臨時運行期間の延長に要する経費について、必要な予算措置を行うもの 補正額 2,102万8,000円 補正後の額 564億5,141万円
議案	議第39号	令和7年度三条市一般会計補正予算	県の補助金を活用して行う生活困窮世帯に対する灯油購入費の助成に要する経費について、必要な予算措置を行うもの 補正額 4,523万3,000円 補正後の額 564億9,664万3,000円
人事	諮第1号	人権擁護委員候補者の推薦について	人権擁護委員西山厚子さん、原泰雄さん、郷睦美さん、後藤美智子さんおよび島田聖一さんは、令和8年3月31日に任期満了となるので、その後任委員候補者として西山厚子さん、原泰雄さん、後藤美智子さん、島田聖一さんおよび渡辺健さんを推薦するもの 任期:3年
(議員発案)			
決議	議員発案第1号	*1級市道大浦山手線(道心坂区間)の整備促進を求めるため決議するもの	○ ○ ○ ○ ○ 原案可決
条例	議員発案第2号	本市議会の議員定数を22人から21人に改め、次の一般選挙から施行するもの	投票採決 (無記名投票) 賛成: 9票 反対: 12票 否決
意見書	議員発案第3号	新たな救済制度を確立するとともに、阿賀野川流域住民の健康被害調査を早急に実施するよう、被害者団体と協議することを要する意見書を提出するもの 提出先:衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、厚生労働大臣、環境大臣	○ ○ ○ ○ ○ 原案可決
議案	議員発案第4号	老齢基礎年金等の支給額を早急に改善するとともに、年金の支給を隔月から毎月に変更するよう要望する意見書を提出するもの 提出先:衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、厚生労働大臣	○ ○ ○ ○ ○ 原案可決
(請願)			
請願	請願第16号	新たな救済制度を確立するとともに、阿賀野川流域住民の健康被害調査を早急に実施するよう、被害者団体と協議することを要する意見書の提出を求めるもの 提出先:衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、厚生労働大臣	市民福祉常任委員会 ○ ○ ○ ○ ○ 採択
請願	請願第17号	老齢基礎年金等の支給額を早急に改善するとともに、年金の支給を隔月から毎月に変更するよう要望する意見書の提出を求めるもの 提出先:衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、厚生労働大臣	市民福祉常任委員会 ○ ○ ○ ○ ○ 採択



会派所属議員

※○:会派の代表者

清風会	○西川重則 酒井健 岡本康佑 山田富義 馬場博文 西村邦明 岡田竜一 白鳥賢 竹山嘉一
自由クラブ	○阿部銀次郎 森山昭 内山信一 佐藤和雄 野崎久雄 藤家貴之
日本共産党議員団	○小林誠 坂井良永 武藤元美
公明党議員団	○燕幸男 笹川信子
無所属	長橋一弘